

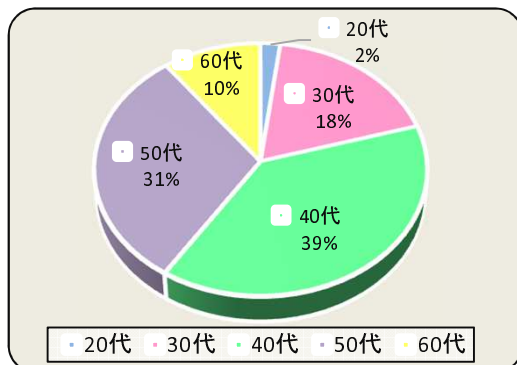
平成29年度 第1回 緩和ケアスキルアップ研修会 アンケート集計

H29.6.21(水) 荘内病院 講堂 18:30~20:00

- ・ 講 演 : 疼痛緩和入門 ~薬物療法からコミュニケーションまで~
- ・ 講 師 : 山形県立中央病院 緩和医療科 科長 神谷 浩平氏
- ・ 参 加 : 51名 ・アンケート協力者 : 49名 (96%)

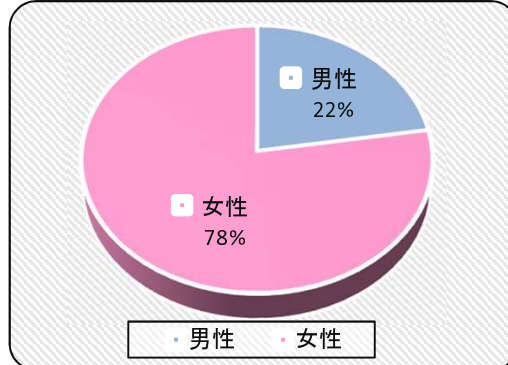
(1) 年齢

20代	1
30代	9
40代	19
50代	15
60代	5



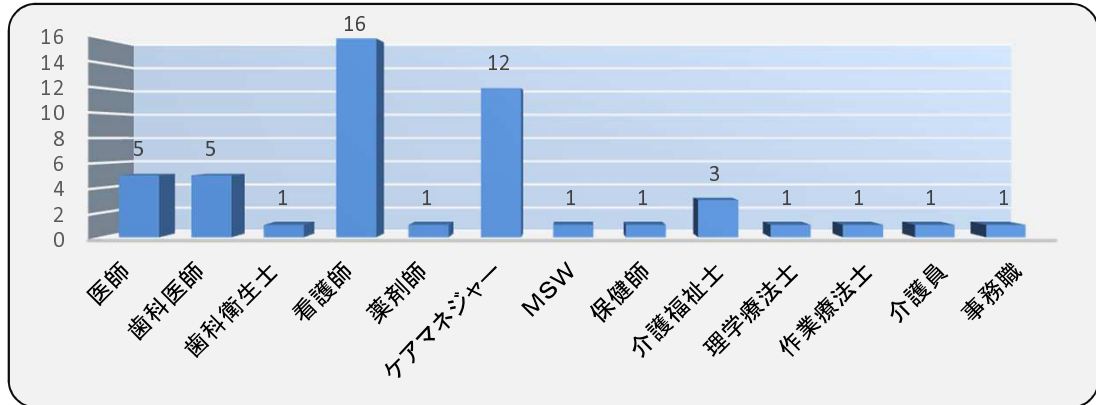
(2) 性別

男性	11
女性	38



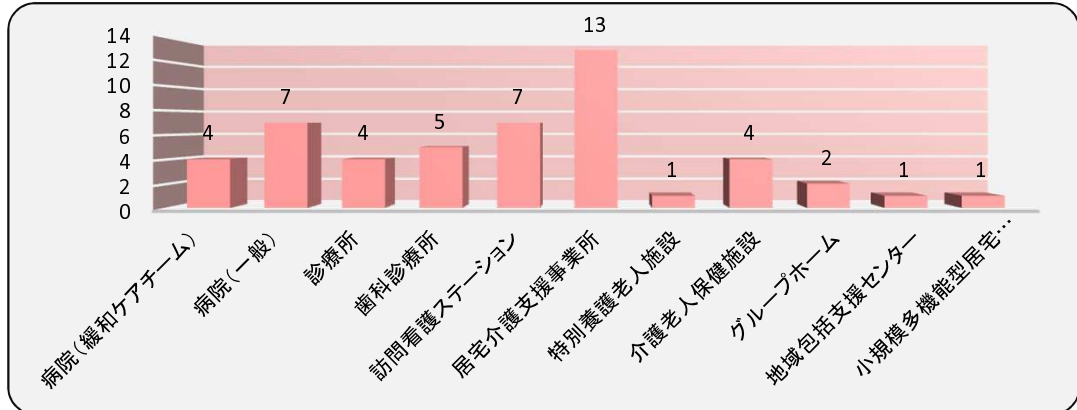
(3) 職種

医師	5
歯科医師	5
歯科衛生士	1
看護師	16
薬剤師	1
ケアマネジャー	12
MSW	1
保健師	1
介護福祉士	3
理学療法士	1
作業療法士	1
介護員	1
事務職	1



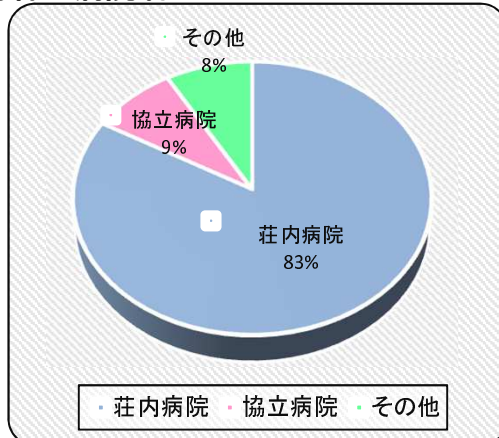
(4) 勤務場所

病院(緩和ケアチーム)	4
病院(一般)	7
診療所	4
歯科診療所	5
訪問看護ステーション	7
居宅介護支援事業所	13
特別養護老人施設	1
介護老人保健施設	4
グループホーム	2
地域包括支援センター	1
小規模多機能型居宅介護	1



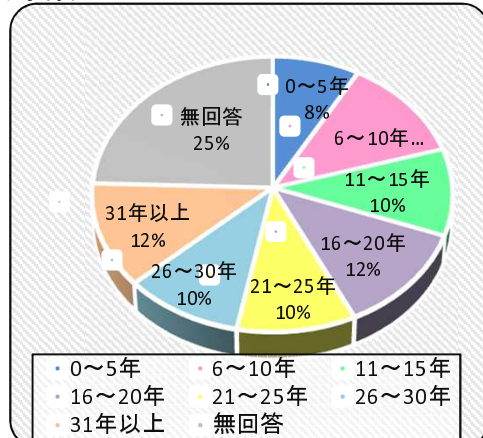
(5) 病院勤務者の病院名

荘内病院	10
協立病院	1
その他	1



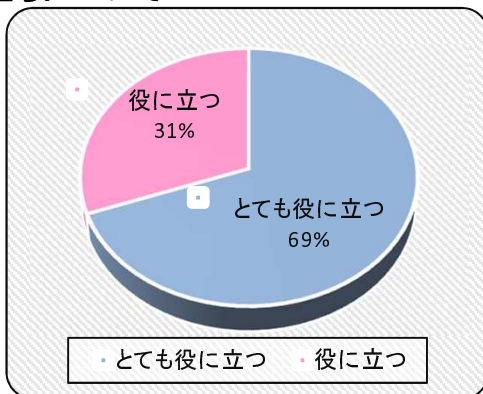
(6) 臨床経験年数

0~5年	4
6~10年	6
11~15年	5
16~20年	6
21~25年	5
26~30年	5
31年以上	6
無回答	12



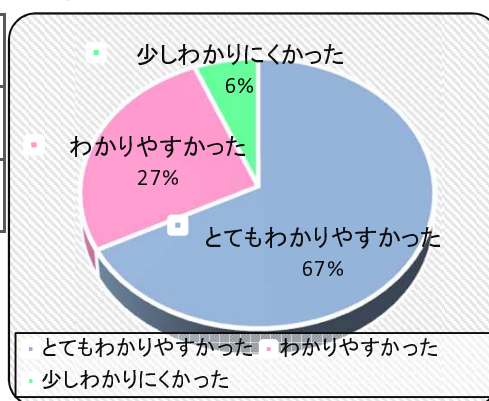
(7) 今後の役立ちについて

とても役に立つ	34
役に立つ	15



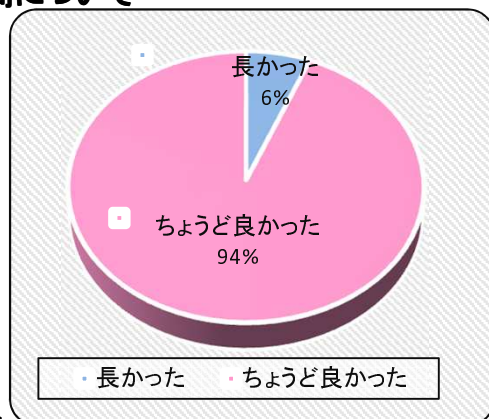
(8) 内容について

とてもわかりやすかった	33
わかりやすかった	13
少しわかりにくかった	3



(9) 講義の時間について

長かった	3
ちょうど良かった	46



<自由記載>

- 内容のあることを短時間でゆっくりしたペースでのお話で、素晴らしかったです。近年になく上手な講演でした。(歯科診療所 歯科医師)

- 緩和ケアの目標「その人らしさを支えること」とても心にしました。この目標を達成するには、家族の理解が必要だと思います。理解が得られずその人らしさを支えられなかった事例もありましたが、ケアマネとして何ができるのか、今一度確認していきたくて思いました。今度は非協力的な家族を説得するコミュニケーション技術を学んでみたいと思いました。とても良い研修でした。ありがとうございました。(居宅介護支援事業所 ケアマネ)

- これまで聴いてきた講演の中で最高！！(診療所 医師)

- 大変有意義な研修会でした。ありがとうございました。(訪問看護ステーション 作業療法士)

- とても良い講演でした。ありがとうございました。(居宅介護支援事業所 事務)

- 内服も大切。コミュニケーションはもっと大切。「その人らしさ」を活かしながら、利用者に関わっていききたい。死後の身体の変化、大変驚きました。(居宅介護支援事業所 ケアマネ)

- プラセボでも医療者、患者の関係が構築されることで良い結果が出ている研究があり、臨床でプラセボは使用していませんが、良好な関係を築くことで緩和ケアにもなり、患者さんにとって良い方向に行くことがわかった。コミュニケーションも大事にケアを行っていききたいと思う。(病院 看護師)

- 私の利用者も余命3ヶ月と言われた方ですが、在宅で独居生活をしています。病院の先生、看護師、薬剤師、訪問看護、訪問介護、親族の方は遠方から週末帰省している。同市の姪、甥の協力があることで本人も自分らしく生活しております。痛みの緩和、コミュニケーション、その人がどの様に生活したいのか、全てに参考になりました。ありがとうございました。プラセボ効果があることも教えていただきました。今後の業務に活かせればと思います。(居宅介護支援事業所 ケアマネ)

- 症例2例とても素敵なお話を聞かせていただき、ありがとうございました。語り口が柔らかで聞きやすい講演でした。(介護老人保健施設 介護福祉士)

- 疼痛自制内というフレーズをつい使用してしまいがちで反省しました。ご本人が納得できているか、ということに大事にしたいです。(病院 医師)

- 緩和ケアにおいて「症状の緩和」はあくまでも手段ということが心に残りました。症状緩和の先に本当のその人らしさがあると日頃感じています。私の力は限られていますが、多くの方の力をかりてその人にあった病状緩和と生活を支えることができたら良いと感じました。今後ともご指導よろしくお願いします。(病院 看護師)

- いつもありがとうございます。(居宅介護支援事業所 ケアマネ)

- PSGについて初めて知りました。とても関心を持ちました。高齢者の看取りにしても、できる範囲で活かしたいと
- ▶ 思いました。その人その人に合わせたオーダーメイドのケアができるように頑張ります。(介護老人保健施設 看護師)
-
- ▶ 事例、感動的、勇気をいただいた。(病院 MSW)
-
- NRS 8 → 3になったから、大部良くなった、けどまだ3あるから辛いのかなと判断に迷うことがあったが、この人
- ▶ はどの数値まで安楽に過ごせるのかを考えると聞き、なるほどと納得しました。自分たちが迷うのではなく、本人に聞けば良いとわかった。(診療所 看護師)
-
- ▶ 本人、家族に寄り添ってお仕事をされていることに感動しました。(居宅介護支援事業所 ケアマネ)
-
- 先生の活動は一人一人の思いを受け止め、その方の人生、生き方を支えてくださる素晴らしい活動をされているとア感動しました。(地域包括支援センター 保健師)
-
- 前半の痛みについては、大変分かりやすく拝聴しました。後半、アドバンス・ケア・プランニング ACPという言葉
- ▶ を聞き、歯科医にとっても治療、口腔ケア、摂食のお手伝いだけでなく、願望を整え、義歯を装着するなど、最期まで寄り添えるという考えが広がりました。貴重なお話ありがとうございました。(歯科診療所 歯科医師)
-
- ▶ オピオイドの量を増量するなどの場面で迷う事があり、PSGという指標があると少し考え方を变えることができるのではないかと感じました。(病院 薬剤師)
-
- 治療より子供の将来を考えた患者さん、コストコへ行かれた患者さんの話が印象深かった。コストコに行けて良かった。病院で亡くなったとのことだが、家族のサポートがともしっかりしているように見受けられた。病院
- ▶ に戻る必要はなかった様に思う。そのまま在宅で過ごし、家族に見守られてとはならなかったのか？死亡確認に行けばいいと思う。(病院 看護師)
-
- 自分の関わり方、声のかけ方などによって少しでも対象者の苦痛を緩和できる可能性があるとうわかりました。
- ▶ 痛みの評価のPSGは、今後、臨床場面でも活用していきたいです。その人らしさを支えることを胸に刻んで過ごしていきたいです。(訪問看護ステーション 理学療法士)
-
- ▶ とてもわかりやすいお話ありがとうございました。最期まで寄り添いその時その時を楽しんでもらえたらいいなあと思いました。(小規模多機能型居宅介護 ケアマネ)
-



ご協力ありがとうございました
健康塾・スキルアップ研修会グループ